

平成29年度の区画整理市費59億円、無謀な事業計画が多くの反対意見を無視し12月17日、決定

12月市議会報告

山崎陽一議員「区画整理撤回要求 第31弾」

事業計画変更決定で「区画整理事業の終わり」が始まった

山崎：今後、事業費、事業期間を見直すのは27年度中か？

阿部：出来れば、26年度中に移転計画を作り、順序よく進めていくつもりでしたが、部長 口頭陳述等でずれ込み遅れる。

山崎：今までの答弁では、曳き家工法だと1年に1~2棟。街区ごとの再築だと、10軒~12軒程で1年~2年かかり、88街区あるので、100年かかる。

職員が50年、100年かけてもやると言っているそうだが？

市長：この事業に固執し、これをなんとしても借金してでもどうしても、街ががたがたしてもやるというものではないということは説明してきた。

山崎：地方自治法2条14項を念のため読み上げて欲しい。

阿部：「地方公共団体はその事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に努めると共に、最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならない」。当然のことと認識している。

行政サービス全国第3位、いまいずこ

山崎：市民サービス低下の認識はあるか？

市長：平成12年、全国の671市と東京都23区を対象の「行政サービス調査」で羽村市は、全国3位、行政改革度で全国4位にランクされた。

山崎：平成16年の発表では16位。24年の発表では52位。

財政悪化、住民サービスの低下、市民の活力喪失の悪循環に陥っていないか？

市長：私は、市長就任以来、さまざまな施策を展開し、常に市民の皆様の視点に立った行政サービスの向上を目指し鋭意、取り組んできた。

職員みずからの「市民はお客様」という使命感を高く評価している。

山崎：全国の市・区の経営革新度調査は、行政の透明度、効率化・活性化度、市民参加度、利便性、この4つの評価で羽村市は前回の66位から167位に下がっている。市民の為のよりよい行政になって欲しい。

企画総務部長：その評価を参考に、更なる透明性を図っていきたい。

12月4日 印南 修太 議員 羽村のまちづくりについて

印南：総事業費が370億円になったというが、変更前の355億円、平成33年度迄という具体的な数字は簡単に出てきた訳ではない。始まってからずっと羽村市財政は大丈夫なのかという議員からの質問もあり、行政は大丈夫だと答えてきた。この予算と工期は市民との約束だと思っている。約束を守るということは、行政だから民間だから、市民だからということではなく、人として相手の心に心で答える、そういうことだと思う。

この事業はあまりにも長い間議論されて、複雑な要因が絡み合ったために、事業の完成そのものが羽村市の目的になってしまっているように思う。

市長：今回の事業計画変更案が都知事から認可されたということは、やるかやらないかに時間をかけるのではなく、対話というか、目的を一つにしてそれに向けていろんな要素を入れながら良い街を作っていくためのきっかけ、その出発点だと思っている。

印南：より良い街を次の世代に引き継いでいく、これは行政、議会の立場に関係なく現役世代、我々の共通の使命だと思っている。西口の事業はその手段の一つ。市長は所信表明で何度も、このまま次世代に引き継げないと言っているが、私はそれは、西口の事業を完璧に完成させなければ次の世代に引き継げない、ということではないと思う。決められた予算と工期の範囲で優先順位を付け、やるべき所を仕上げ、残された部分は次の世代とまたその次の世代がその時代、その時代にあって求められているものを進めて行けば良いと考えている。

重要な事は、この街で生まれた人間、この街で育った人間が何を大切にしていけるか、そういった価値観とそのスピリットを引き継いでいくことだと思う。

反対の会 総会のお知らせ

2月11日(水・祝) 午後1:30～5時

場所：本町会館 1階 和室

みんなの意見や考えを持ち寄りましょう！

羽村市は912通の意見書と口頭陳述208名にどう答えたか (抜粋)

東京都がまとめた意見書の要旨 (件数)	羽村市の見解
事業計画に反対する。 (911人)	事業計画変更は、平成25年8月の換地設計の施行者決定に伴い、現行の事業計画書の内容を変更するものである。
地権者や住民の思いを無視して決定した換地設計図を基にした変更案を認めることは出来ない。 (138人)	この換地設計の決定に当たっては、平成20年2月から、2度の案を示して見直しを行っており、その際に権利者から提出された意見・要望については、個々の権利者との個別調整を行うとともに、5年間にわたり、計49回の土地区画整理審議会を開催し、慎重な審議を行ってきている。
変更計画図は住民の意見を無視して作られているので認めない。 (10人)	反対の会コメント ~ ~ ~ ~ (羽村市の見解は、同じようなものが書かれていて、回答になっていない。)
変更図面は期間や権利者の財産と精神的な負担について全く考慮されていない。 (4人)	羽村市は時間をかけ丁寧に進めてきたと見解を述べているが、ついやした時間や回数が問題なのではない。権利者の求めているのは中身である。羽村市は反対している人達の思いをくみ取らない対応しかしていない。
劣悪な事業のために減歩や清算金、移転や仮住まい等の負担に応じることが出来ない。 (128人)	羽村市は都市計画決定後、約16年間、基本となる計画図や手法に対する意見や要望をことごとく無視し、全てを個別交渉の換地と移転補償で片付けようとしている。これではいつまで経っても理解も合意も得られない。
環境を破壊し、住民や市民を苦しめる事業は止めるべきである。 (25人)	羽村市行政のやり方により、住民は分断された。「まち壊し」以外の何ものでもない。
市は換地だけを優先し、その他の重要課題には意識薄弱で、深刻な人災と言わざるを得ない。 (1人)	羽村市の見解 事業の施行に当たっては、具体的な移転計画や年度ごとの予算を定め進めて行くもので、国等の施策の動向を踏まえ、本事業の補助金のほか、住宅市街地総合
住民への十分な説明は行われず、反対や見直しを求める地権者が多く、理解も得られていない。 (218人)	
住民を無視して進めるやり方は人権問題で多くの住民が反対だ。 (51人)	
何一つ良いことがないのに、一方的に住民に圧力をかけてくる羽村市のやり方に断固反対する。 (24人)	
住民に誘導的なアンケートを実施し、騙しながら嘘とごまかしだらけで進めてきたこの事業に強く反対。 (9人)	
地域に根付き生活している西口住民と手を携え「まちづくり」を進めているか。誰の方向を向いての「まちづくり」か。 (10人)	
無駄で無謀な事業に370億円もかける愚行は止めるべき。 (367人)	
鎌倉街道の様な歴史的な道路をいかし、お金をかけず住民の負担も少ない「まちづくり」に変更すべき。 (57人)	

<p>総事業費355億円が370億円に増額された財源の裏付けが不透明。事業強行は財政破綻を招きかねない(235人)</p>	<p>整備事業などの補助制度も活用しながら、市の財政負担の軽減を図って行く。 事業施行期間と資金計画は今後、必要に応じ変更の手続を行っていく。</p>
<p>羽村市の年間予算は約200億円、その25%以上に当たる年間59億円を区画整理に使う資金計画は無謀。膨大な借金を抱え込む事になる。(249人)</p>	<p>優先度は3・4・12号線と駅前。</p>
<p>少なくとも50年又は100年を要し、その間住民を縛り、不安を与え続ける事は行政として誤った行為だ。(17人)</p>	<p>反対の会コメント ~ ~ ~ ~ 資金計画が不確実な計画は、区画整理法施行規則10条違反にあたる。</p>
<p>市は事業期間の変更手続きで済むが私達は生活設計が出来ず困る。(1人)</p>	<p>このまま進めれば、福祉や教育のサービス低下はますます加速し、且つ、孫子の世代へ莫大な借金を残すことになる。</p>

11月18日、都の都市計画審議会にて我々の意見書が不採択とされた

意見書を採択した委員の意見

- ・「区画整理手法は時代遅れ、各地で地区計画に変更等の見直しが見られる」
- ・「平成29年の59億の市費負担、改めて検証されなければならない」
- ・「未だ理解が得られず反対の声が続いている。区画整理による“まちづくり”は見直すべき。現道を生かした修復型“まちづくり”を市民は望んでいる」

意見書を不採択とした委員の意見

- ・「住民からの出された様々な意見を十分参考に実施する必要がある」
- ・「丁寧な対応によって、反対者の理解を得ながら進めよ」
- ・「丁寧な対応で住民の不安を取り除きながら進めるべき」と結んだ。

都の鈴木市街地整備部長は、事業計画以外の換地等の意見の説明は全て省略。かつ、推進前提の羽村市の説明を鵜呑みにして審議を進めた。

寄せられたご意見

権利者は、市の見解に反論も出来ない。一方的な見解だけの審議は不公平だ。このようなシステムの上に成り立つ審議会そのものがおかしい。
これからも一つ一つチェックし、おかしいと思うことに声を上げていこう。

- * 5月と9月、2回にわたり、反対の会から経過説明等の資料を都知事と審議会会長に提出。都は、都市計画審議会委員への配布を拒否した。
- * 12月11日、都知事宛に「意見書の内容1件ごとに、結果とその理由を意見書提出者に通知する事を求める請願書」を提出しました。
- * 12月16日の羽村市区画整理審議会にて、市に対し、各意見書提出者に市の見解を知らせ、説明するよう求めました。

